

結婚新生活支援補助金を開始します

新生活をスタートされる夫婦に、新たな住宅購入費用、住宅賃貸借費用、引越費用、住宅リフォーム費用の一部を補助します。

対象 令和5年3月1日から令和6年3月31日(日)までに婚姻届を提出し、受理された夫婦

補助金の上限額 1世帯あたり最大30万円

受付期間 ①4月17日～5月12日(金)、②6月12日(月)～7月14日(金)、③8月14日(月)～9月15日(金)、④10月16日(月)～11月17日(金)、⑤12月18日(月)～令和6年1月12日(金)、⑥令和6年2月12日(月)～令和6年3月8日(金)

※期間外での受付はできません。申請件数によっては受付を終了する場合があります。

申込方法 申請書と必要書類を添えて、持参または郵送、電子申請フォームで企画調整グループ(〒059-8701 中央町6丁目11)



条件 ①夫婦の所得合計額が500万円未満の方、②夫婦ともに婚姻届が受理された日の年齢が39歳以下の方、③新生活を営む住宅が登別市内にあり、夫婦とも、または一方の住所が当該住宅の所在地となっている方、④夫婦とも、または一方が申請日から3年以上、登別市に継続して居住する意思がある方、⑤夫婦ともに市税に滞納していない方、⑥夫婦ともに暴力団の構成員でない方

事前相談を受け付けます

補助金申請前に事前相談を行っています。申請方法や必要書類を説明していますのでお気軽にご相談ください。

問い合わせ 企画調整グループ

(☎05 1 1 2 2)



とうほんせいそう 東奔西走

3月27日、登別温泉地獄谷駐車場を会場に、グリーンスローモビリティ運行開始セレモニーを開催しました。グリーンスローモビリティとは、電気力により時速20キロ未満で走行する乗り物のことで、登別温泉では22人乗りの低速電動バスを2台導入しました。バスの名称は、市内小学生による投票で、『オニスロ』に決定し、セレモニー当日、『オニスロ』の名称を考えた児童7名の表彰式も行われました。登別温泉は、環境に優しい未来に向け、動き出しています。

環境に優しい
観光地の実現へ
運行開始セレモニー



▲委嘱状を持つ本間さん(右)

新しいふるさと大使の誕生です
ふるさと大使委嘱状交付式
3月27日、市は、新しくふるさと大使になる本間真帆さんへ委嘱状を交付しました。ふるさと大使(通称「鬼大使」)は、本市にまつわる情報発信などを担っています。本間さんは登別青嶺高校を経て専門学校卒業後、アイドルグループ『フルーティー』のメンバーとして活動、昨年は世界的ミスコンテストの北海道代表に選出され、日本大会の準グランプリになるなど活躍中です。SNSを通じた登別の魅力発信に意欲を見せる本間さん、新時代の鬼大使に今後注目です。



▲登別温泉街を走る『オニスロ』